

32 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業[新規]

【4, 576（一）百万円】

対策のポイント

農林水産・食品分野の成長産業化に必要な研究開発を、基礎から実用化まで継ぎ目なく推進します。

<背景/課題>

- ・農林水産・食品分野の成長産業化を図るためには、産学の研究勢力を結集し、公的研究機関等の基礎的研究の成果を基に着実に生産現場等で実用化につながる技術的成果を創出することが重要です。
- ・新たな市場開拓を見据え、実需者のニーズ等を踏まえた重点研究分野を設定するとともに、優れた研究課題は、基礎から実用化まで継ぎ目なく支援します。

政策目標

実施課題の90%において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出（29年度）

<主な内容>

1. 提案公募による研究開発

(1) シーズ創出ステージ

産学の研究機関の独創的な発想に基づき、将来、アグリビジネスに結びつく革新的な技術シーズを創出するための研究開発を支援します。

(2) 発展融合ステージ

創出された技術シーズを基に、異分野の産学の研究機関との融合や研究人材の交流により、実用技術の開発に向けて発展させるための研究開発を支援します。

(3) 実用技術開発ステージ

国の重要施策や農林水産・食品分野の現場の多様なニーズに対応した技術の実用化に向けた研究開発を支援します。

2. 研究課題の進行管理や研究成果の普及等に関する調査分析

研究課題の審査、進行管理、評価から普及状況等の把握まで一貫した調査・分析を行うとともに、研究開発の成果の普及等を推進します。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

お問い合わせ先：

農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-5530 (直))

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（新規） ～シームレス研究開発プログラム（Seamless Program for R&D）～

農林水産・食品分野における産学連携による研究開発を基礎から実用化段階まで継ぎ目なく推進

基礎段階

応用段階

実用化段階

新規公募を実施

新規公募を実施

シーズ創出ステージ

産学の研究機関からの独創的な発想から、将来、アグリビジネスにつながる革新的なシーズを創出する研究開発を推進。

研究期間：原則3年以内
研究費：
①Aタイプ：5千万円以内／年
②Bタイプ：1千万円以内／年

移行委員会で審査

発展融合ステージ

【産学機関結集型】

創出されたシーズを基に、産学の研究機関が結集し、実用化に向けた発展的な研究を推進。

フェーズⅠ

研究期間：1年間
研究費：Aタイプ、Bタイプ共通5百万円以内／年

フェーズⅡ

研究期間：原則2年以内
研究費：
①Aタイプ：5千万円以内／年
②Bタイプ：1千万円以内／年

【研究人材交流型】

創出されたシーズを基に、異業種の研究機関等が、農林水産・食品分野の専門研究者の派遣を受けて、実用化に向けた発展的な研究を推進。

フェーズⅠ

研究期間：1年間
研究費：Aタイプ、Bタイプ共通5百万円以内／年

フェーズⅡ

研究期間：原則2年以内
研究費：
①Aタイプ：5千万円以内／年
②Bタイプ：1千万円以内／年

移行委員会で審査

実用技術開発ステージ

【研究成果実用型】

農林水産省が実施した基礎・応用研究等の成果を活用した技術開発を推進。

研究期間：原則3年以内
研究費：①Aタイプ：5千万円以内／年
②Bタイプ：1千万円以内／年

【現場ニーズ対応型】

実用化に向けた出口（研究成果）を明確化した技術開発を推進。

研究期間：原則3年以内
研究費：①Aタイプ：3千万円以内／年
（研究連携協定を締結する場合は、5千万円以内／年）
②Bタイプ：1千万円以内／年

【重要施策対応型】

総合特区、地域イノベーション戦略地域等に対応した技術開発を推進。また、緊急対応を要する場合も対応。

研究期間：原則3年以内
研究費：2千万円以内／年

【申請者の要件】

- 「発展融合ステージ」の「産学機関結集型」では、研究グループに「民間企業等」の参画が必須。また、「研究人材交流型」では人材交流が必須。
- 「実用技術開発ステージ」は、研究グループに「普及・実用化支援組織」の参画が必須。